

## 第4回総務経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和4年7月12日（火曜）		午後1時30分 開会	
	休 憩 13:56-57 14:19-20			
	午後2時44分 閉会			
	休憩時間：0時間2分		会議時間：1時間12分	
会議場所	役場3階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	鈴木 健充	委員	立川 美穂
	副委員長	中田智恵子	委員	梶澤 幸治
	委員	寺町 平一		
	委員	中村 和宏		
説明員	都市経営課長	佐藤 季之	商工労政課長	仲野 裕司
	都市経営係長	齋藤 錦	商工労政課長補佐	中村 宗紀
			商業振興係	平山 亮輔
参考人				
欠席委員 氏 名	委員	広瀬 重雄		
事務局職員	事務局長	安田 敦史	係長	佐藤 史彦
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会</p> <p style="padding-left: 20px;">委員長が開会を告げ、広瀬重雄委員の欠席の報告後、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件</p> <p>(1) 調査事項</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 地域集会施設再整備について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市経営課長：資料（中伏古・上伏古地域集会施設の概要及びスケジュール）について、担当係長から説明する。</li> <li>・都市経営係長：資料説明（資料1-1、2、3）</li> <li>・委員長：「資料1-1（中伏古地域集会施設）」について、質疑はないか？</li> <li>・立川委員：オストメイト対応のトイレは整備しないのか？</li> <li>・係長：地域との協議の際に話題にはなったが、必要性や優先度が高くなく採用には至らなかった。</li> <li>・委員長：他にないか？なければ、「資料1-2（上伏古地域集会施設）」について、意見・質疑はないか？</li> <li>・梶澤委員：当該施設の整備については、令和4年度の予算審査（3月議会）の場面で議会で議論があり、それを踏まえて、本日の説明に至っていると捉える。当初の予定図面と比較し、事業面積の圧縮・精査等が見えるが、この間の地域の理解はいかが</li> </ul>				

か？

- ・係長：議会の提言を踏まえて、地域の理解のもと今日に至る資料である。
- ・梶澤委員：地域も基本計画を理解していると解して良いか？
- ・係長：お見込みのとおりである。
- ・梶澤委員：面積で50㎡ほど減。経費減としての見込みは？
- ・係長：具体額は確定できないが、一定減を見込めるものと考えている。
- ・課長：当初予算の計上根拠は㎡単価を基本にしたが、この間、資材高騰の要素も踏まえると、当該事業の手法である技術提案（ECI方式）の効果を発揮し施工したい。具体的には50万円ほどの減を見込めるものと想定している。
- ・梶澤委員：シャワー室の用途は？
- ・係長：北伏古に次いで2か所目の設置。災害時の避難を想定した施設。
- ・梶澤委員：今後の整備として、洗濯機等も想定されるのか？
- ・係長：備品については、これまでの整備施設と同様。そのほか、地域要望に基づき設置の検討。
- ・立川委員：外構の遊具は撤去か？再整備か？
- ・係長：町が事業主体となる整備ではなく、地域が独自に整備することも検討要素として存在するので、現時点では今後の課題となっている。地域としては、屋外遊具の設置は、維持管理も同時に検討すべき課題として認識し、慎重な対応となっている。
- ・委員長：他にないか？「資料1-3（スケジュール）」について、意見・質疑はないか？
- ・（質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

#### イ 新型コロナウイルス対策商工業支援事業について 資料2

- ・商工労政課長：事業概要を説明し、資料は担当課長補佐から説明する旨を告げる。
- ・課長補佐：資料説明（「R4プレミアム付商品券の販売方法について」「町内事業者エネルギー機器等導入事業費補助金」等）
- ・委員長：質疑はないか？
- ・立川委員：プレミアム商品券について伺う。これまでの経済効果をどのように分析しているのか？購入者及び商店の反応についてなど把握している状況を伺いたい。
- ・課長：大型店から中小事業者への事業効果の拡大が見受けられるのが一点。また専門機関に分析した結果としては、経済波及効果も確認している。
- ・立川委員：券のデザインについて、見分けにくいなど課題を聞くが、色等の見直しは予定しているのか？
- ・課長：町として課題認識はなかったが、ひとつの意見として伺いたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（質疑なし）
- ・委員長：調査事項「イ」を終了する。

#### ウ 元気な商店街づくり支援事業について 資料3

- ・商工労政課長：資料を担当課長補佐から説明する。
- ・課長補佐：資料説明（「商工会青年部事業の事業内容について」「先進地視察」）
- ・委員長：質疑はないか？
- ・立川委員：空き店舗のリノベーション事業について、170万円の使途は？
- ・課長補佐：自由度の高い事業への使途に努めていきたい。なお、青年部事業は100万円となっている。
- ・中田委員：チャレンジショップの営業期間の設定は？
- ・課長補佐：拠点については来年1月までの間に1～2週間の期間。
- ・中田委員：本格的に開業したいとなった場合の町の対応として、資金補助は念頭にあるか？
- ・課長補佐：現行の町の制度を活用しながら対応していきたい。
- ・中田委員：先進地視察の実施時期は？
- ・課長補佐：8月下旬の2泊3日を予定している。
- ・委員長：他にないか？
- ・（質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

エ 6月定例会議の振り返りについて 資料4

- ・立川委員：資料説明（「議会での避難訓練の実施について」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？ 委員長としては、この件については、委員会における「定例会議の振り返り」として議運へ移行し協議するという取り扱いではなく、個々の議員の課題認識として、全員協議会の場で意見して協議することが適当と考えるがいかがか？
- ・梶澤委員：定例会議中に発生した出来事を機としての「振り返り」なので、委員会における定例会議の振り返りとして、議会運営委員会にあげても良いのではないかと。「避難訓練のあり方」を考える機会は重要かつ必要と考える。
- ・中田委員：危機管理の対応は、重要な事項とは捉えるが、委員長の発言通り委員会としての振り返りというよりは、全員協議会の場で協議する手法が適切と考える。
- ・梶澤委員：全員協議会は議会運営委員会から提起される案件を基本に協議する趣旨なので、前述したとおりの意見を繰り返す。ただし、振り返りの後段にある「町職員を交えた避難訓練の実施」については、議会内で議論するものではなく、議会として、主体的な行動や取組みに係る事項を協議、整理する趣旨であることは申し添えたい。
- ・寺町議員：梶澤委員の意見に同感である。議運で取り扱いを協議していただくことが是と考える。
- ・中村委員：本会議や委員会開催時における地震発生の対応について、議会運営委員会で協議・確認していくことで良いと考える。
- ・立川委員：梶澤委員の意見のとおり、町職員を交えた避難訓練の実施については、振り返りとはしないことについては、理解するところである。
- ・委員長：他にないか？

- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：結論としては、会議中における地震等の対応、行動について、議運で協議することとして整理する。調査事項「エ」を終了する。
  
- ・委員長：自由討議についてお諮りする。調査事項「ア」についていかがか？
- ・(意見なし)
- ・委員長：調査を継続することとし、以上で自由討議を終了する。
  
- ・委員長：調査事項「イ」についていかがか？
- ・(意見なし)
- ・委員長：調査を継続することとし、以上で自由討議を終了する。
  
- ・委員長：調査事項「ウ」についていかがか？
- ・(意見なし)
- ・委員長：調査を継続することとし、以上で自由討議を終了する。

### 3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について  
正副委員長一任

(2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
  - ・(なし)
  - ・委員長：議長からないか？
  - ・(なし)
  - ・委員長：事務局からないか？
  - ・(なし)
- 以上で総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年7月12日

総務経済常任委員会委員長 鈴木健充